

# 神和台

地域情報紙 「しんわだい」 第 113 号  
発行 自治会広報部 2023 年 (令和 5 年) 3 月 1 日

## つながりの中で

保科 登志子(会長)

「コロナ禍」が始まって3年目、自治会の会長という重責を担わせて頂くことになりました。12年前に1度だけ地区長をした記憶はありますが、あみだくじで会長を引き当てたときには、文字通り頭が真っ白になり、どこから手をつければ良いのかと戸惑うばかりでした。しかし幸いなことに、自治会を支援してくださる役員経験者の方々に励まされ、助言をいただきました。

つ、できることから少しずつ始めることができました。

今年度の役員は、大半の方がお仕事をされているので、一同に集まるのが困難な状況でした。しかし、前年度の役員さんからも一人で責任を負うのではなく、協力しあって問題解決をすればいいとアドバイスを頂いていたとおり、まずは連絡を取り合うことから始めました。役員の皆様は、時間の使い方が上手な方が多く、職場で磨かれたスキルを用いて連絡を取り合いながら、助け合いつつ活動ができたように感じています。



北公園整備工事 令和4年8月撮影

神和台自治会役員の任期は基本的に1年です。昨年5月と7月に自治会役員初任者講習に参加させていだいた際、他の自治会会長に任命された方々にもお

の力だけでできたことではなく、今までの自治会役員の方々を始め、自治会役員以外の神和台のことを大切に考えてくださる方々の力が合わさったことによる結果だと感じております。これらの補修や工事は全て、1年では完結できないことだからです。

た、ご家族ぐるみで助け合いが見られたのも今期の役員活動の特長だと思えます。

また今期の神和台にとって大きな嬉しいニュースとして、子ども達の通学路である「126階段の補修」や「緑道及び北公園の整地工事」が実現できたことが挙げられます。ただ、これらのことは、決して今期の役員

会いしましたが、どこの自治会も1年交代のところが多く、数ある課題の中でどこから始めれば良いのかと不安そうの方が多く見受けられました。

その中で、神和台の自治会は恵まれていることを強く感じました。既述の通り、今期実施できた補修や工事は、継続して取り組まないと成果がでない課題

ですが、本来は1年交代の役員の皆様方や協力してくださる地域の方々の思いが様々な形でつながり、実を結んでいるからです。私たちは今回のように大家族のようなつながりの中で、励まし合い、支え合いながら、粘り強く問題解決をしていくべきだと考えます。

私もそうでしたが、役員改選の時期が近づくにつれ、自分が任命された役職を全うできるのかという悩みを持っている方もいらっしゃると思います。そんな方々へ私がお伝えさせて頂きたいことは、まずは街区の中で話し合いを大切にしていただきたいということ。身近なところから始めて、できることをやっていくことでつながりが出来てくるからです。

## 助け合いながら

逢坂 知己(1丁目副会長)

神和台に住み始めて5年ほど経ちましたが、自治会活動に参加したのは今年度が初めてでした。「何かあったらお互いに助け合いましようね」と、引継ぎの時に会長さんたちと約束を交わし、今年度が始まりました。

初めは本当に全員が手探りのような状態でしたが、それぞれが何とか自分出来ることを、との思いで密に連絡を取り合いながら問題を共有し、ゆっくりと前進してまいりました。しかし、夏頃に私が体調を崩してしまい、一時期は全く動けないような状態になってしまったのですが、周りの方々がすぐにサポートをしてくださりました。

しかもそれだけではなく、心身がとても辛かった時にたくさん優しいお言葉もいただいて、本当に励みになりました。「お互いに」と約束したものの、私は助けられてばかりでしたが、おかげさまで療養に専念することができ、寒くなる頃には副会長の業務に復帰することもできました。

2022年は、私にとって自治会活動を通して人との繋がりの大切さ、そして神和台の人々の温かさをたくさん感じられた1年となりました。この機会があったからこそ、出会えた方々に支えられてここまで来られたことを心より感謝申し上げます。

寒さがとても厳しいですが、神和台の皆様もどうか「あたたかい冬」を過ごされますように。

### ボランティアの皆さま

川西 廣美(2丁目副会長)

昨年の春に役員選出のあみだくじで2丁目の副会長という大役を引き当ててから、早いもので残り月わずかとなりました。

役員になってから、公園の見回りに行った時、砂場の砂が表面まで47センチと小さな子ども達にとっては危険な為、すぐに保科会長が市に連絡を取って下さりました。今では、ベンチも塗り直しをしてもらって、子ども達の楽しそうな声が聞こえる公園になりました。

コロナ感染者数が増加した頃陽性者が集会所を利用していたことが判明し、会長と管理部長とともに窓を全開にして、汗だくになりながら隅々まで消毒し、これ以上感染者が増えないことを願いました。

ボランティアで道路や集会所の草刈りをして下さっている方やゴミ集積場のネットを補修して下さっている方等、自分から進んで住民の皆様が少しでも気持ちよく生活できる様にと縁の下の力持ちになって下さっている方が神和台にはたくさんいらっしゃいます。その方々のことを知ることが出来たことは副会長になって良い勉強となりました。

地区長さん、街区委員さん、自治会員の皆様のご協力に助けられた1年でした。ありがとうございました。



春の大掃除 令和4年5月撮影

### ゴミ問題の取組

大崎 眞佐子(3丁目副会長)

今年度の役員は若くて行動力のある方が多く、私は不安を感じながらのスター

トでした。しかし、頼もしい仲間にも恵まれて、何とか今日までやっていくことができました。

中でもゴミの問題は、今年度も大きな問題となり、ゴミの選別、草木ゴミの収集、ゴミのポイ捨て、草刈りの依頼など、様々な情報、ご意見をいただきました。そして、専門部の方と課題を共有しながら、ひとつずつ取り組んでいくなかで、今までの自治会役員や専門部経験者からいただいた方、ボランティアでお手伝いくださった方、そして情報をくださった周囲の方などたくさんのお力をいただいていた問題すべてに満足な結果を得ることはできませんでしたが、ご協力をいただいたおかげと心より感謝申し上げます。時代の流れと共に自治会も課題は山積んでいます。神和台も高齢化が進み、これからの自治会活動も難しいところがございますが、人と人とのつながりを大切にして、誰もが無理なく参加できる自治会であること

を願っています。環境に恵まれ、安全で安心して暮らすことができる私達の街のために今後とも皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

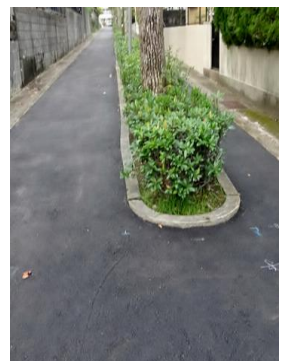
### 災害に備え防災訓練

東浦 勝彦(広報部長)

9月3日に、北公園にて、名谷ふれあいのまちづくり協議会主催の防災訓練が、行われました。(左画像) 垂水消防署から防災についてのお話しの中で北公園には100トの埋蔵金ではなく、100トの水が貯水されてお約100分間放水出来るそうです。発電機及び防災設備の点検が、主でした。発電機

は、1リットルのガソリンで、約60分間持つそうです。災害時に、必要不可欠なスマートフォンも充電も可能です。また、保科会長、川西副会長、田中防犯部長の皆さんが、防水ポンプからの放水体験に参加されました。お疲れ様でした。

なお、北公園の傾斜の補修及び北公園南側の緑地帯の舗装(右画像) など今年度は、垂水建設事務所が、迅速に工事を完了されました。





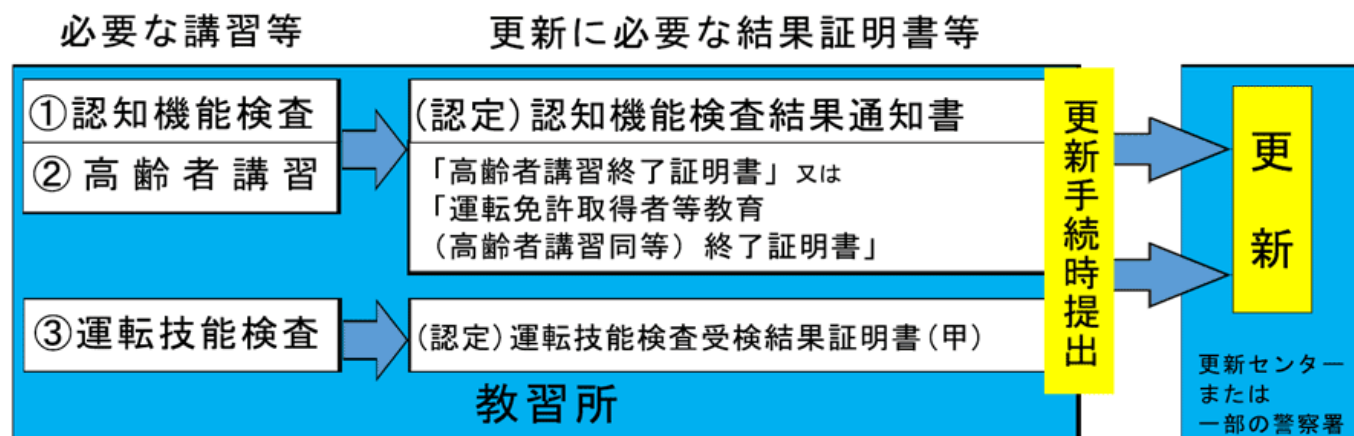
# 高齢ドライバーの免許更新 ご存知ですか？

西池 篤生（広報部員）

70 歳以上のドライバーは更新時に「高齢者講習受講」。

75 歳以上のドライバーは更新時に「高齢者講習＋認知機能検査」が必要です。

更に 今年 5 月から 免許の有効期限直前の誕生日の 160 日前から過去 3 年以内に信号無視など 11 種類の違反が一つでもあった 75 歳以上を対象に運転技能検査（実車試験）受験が義務付けられました。



## 【運転技能検査】

有効期限内なら何度でも受けられるが合格しなければ失効する。（原付に変更可）

100 点満点中、大型二種、中型二種又は普通二種の免許所持者は 80 点以上、それ以外の方は 70 点以上で合格となります。

以上のように高齢ドライバーの更新が少しずつ厳しくなってきたのも高齢ドライバーの操作ミスによる事故が目立つためです。

この神和台も日本の高齢化に伴い、高齢者、高齢ドライバーが増加しております。

事故防止の為、安全運転を心掛けていただきたいと思います。

## 【高齢運転者の交通事故を防ぐためには】

- \* 身体機能や視力の低下を自覚し 運転方法や考え方を変える。
- \* 速度や車間距離に余裕を持つ 渋滞時等アクセル ブレーキ踏みかえ時注意。
- \* 安全確認を確実に・・・交差点 進路変更 発進時等
- \* ルールを正確に理解する。
- \* 夜間、長時間の運転を避ける。

# AED の使い方

集会所に新しい AED が設置されました。いかに早く電気ショックができるかで救命率が変わります。3つのステップで安全に使えますのでご確認ください。

ウイリアムソン 彰子（広報部員）



## 1 電源を入れる

まず、電源ボタンを押して電源を入れます。すると、スピーカーから音声ガイドが流れます。

これ以降は、音声とパネルのLED表示に従って操作してください。



## 2 除細動パッドを貼る



## 3 「ショックボタン」を押す

電気ショックが必要ないと判断された場合、ショックボタンを押しても放電されません。救急隊が到着するまで電源は切らず、除細動パッドは付けたままにします。



ハロウィンの催しが集会所前で開催。多くのちびっ子が集まりました。令和4年10月30日 撮影

お悔み	出産お祝い	転出	転入
松原 達郎	逢坂 知己 (拓実)	岡山 憲生	山本 貴雄
樋口 妙子		稲本 美里	榎本 隆二
3丁目	1丁目	3丁目	1丁目
2丁目		3丁目	1丁目
		中野 洗輝	山本 貴雄
		矢野 亮希	榎本 隆二
		多田 一哉	吉村 元成
		2丁目	1丁目
		2丁目	1丁目
		2丁目	1丁目
		3丁目	1丁目

神和台情報ファイル

**編集後記**

今回の神和台ニュースは、会長や副会長、広報部員の方々が協力的に話題提供をされ、今年度の自治会活動の様子が分かる新聞記事が短期間で集まりました。

新型コロナウイルスの影響は続いており、様々な行事が中止となる中、会長の呼びかけによる有志の方々でハロウィンのイベントを開催してくださいました。想定以上に子ども達が来場されたことと、神和台には多くの子どもがいることも再認識できました。

自治会行事が減ってしまったことにより、仕事と子育てで忙しい世代が自治会活動に触れる機会が少なくなり、自治会の必要性を感じにくくなっているかもしれません。しかし、役員やボランティアの方々や住みやすい街づくりの為に尽力されていることが本新聞でお伝えできれば幸いです。

(広報部一同)